

基準 6 教育の成果

(1) 観点ごとの分析

観点 6-1-①: 高等専門学校として、その教育の目的に沿った形で、課程に応じて、学生が卒業（修了）時に身に付ける学力や資質・能力、養成しようとする人材像等について、その達成状況を把握・評価するための適切な取組が行われているか。

（観点に係る状況）

進学士課程

教育目標の項目の（A）～（E）について、年度末に年度の成績評価資料を基に達成度状況の評価を行い、年度初めの教員会議で周知するとともに、学内向きの教務掲示板のサイトに掲示して周知を図っている。（資料 6-1-①-1～5）

資料 6-1-①-1		
機械工学科		
分類	評価方法	評価
A-1 社会倫理	各学科の総合国語、地理、歴史、倫理、政治経済、法学、英語 A、ドイツ語の最上級学年のクラス平均の平均	124%
A-2 技術者倫理	卒業研究について、各学生の主査によってなされた該当項目の評価点のクラス平均。なお、該当の評価項目及び配点は「卒業研究成績評価票」の書式としてシラバスに示されている。	137%
A-3 芸術・保健体育	各学科の保健・体育・美術・音楽の最上級学年のクラス平均の平均	129%
B-1 計画	卒業研究について、各学生の主査によってなされた該当項目の評価点のクラス平均。なお、該当の評価項目及び配点は「卒業研究成績評価票」の書式としてシラバスに示されている。	128%
B-2 実践	卒業研究について、各学生の主査によってなされた該当項目の評価点のクラス平均。なお、該当の評価項目及び配点は「卒業研究成績評価票」の書式としてシラバスに示されている。	139%
C-1 日本語	総合国語の最上級学年の成績	132%
C-2 英語	英語 A、ドイツ語の最上級学年の平均成績、および第三学年 TOE I C のスコア（基準は 350 とする）との平均。	107%
D-1 理学	応用数学 I、応用数学 II、応用数学 III、および応用物理 II のクラス平均の平均	131%
D-2 基礎工学	4 年の機械力学 I、材料力学 II、材料学 II、機械設計法 II、数値計算法、機械工学実験 II、そして 5 年の材料学 III、工学解析の各評価のクラス平均の平均	116%
D-3 工学共通	4 年の伝熱工学 I、塑性加工学、制御工学 I、機械工学実験 II、創生工学実習、そして 5 年の制御工学 II の各評価のクラス平均の平均	121%
D-4 専門	4 年の材料力学 II、水力学、熱力学、伝熱工学 I、機械工学基礎研究、5 年の材料力学 III、流体力学、機械力学 II の各評価のクラス平均の平均	117%
D-5 異分野	電気回路、電子回路の各評価のクラス平均の平均	138%
E 情報技術	4 年の機械設計法 II、数値計算法、機械工学実験 II、創生工学実習、機械工学基礎研究、5 年の工学解析の評価のクラス平均の平均	124%

（出典 教務掲示板）

資料 6-1-①-2		
電気情報工学科		
分類	評価方法	評価
A-1 社会倫理	各学科の総合国語、地理、歴史、倫理、政治経済、法学、英語 A、ドイツ語の最上級学年のクラス平均の平均	125%
A-2 技術者倫理	第五学年技術者倫理のクラス平均	131%
A-3 芸術・保健体育	各学科の保健・体育・美術・音楽の最上級学年のクラス平均の平均	132%
B-1 計画	対象科目の重み付けを考慮した 5 段階評価の合計値×100／（対象科目のうち必修科目の合計×重み付け×3）	130%
B-2 実践	対象科目の重み付けを考慮した 5 段階評価の合計値×100／（対象科目のうち必修	141%

	科目の合計×重みn付け×3)	
C-1 日本語	各学科の総合国語の最上級学年のクラス平均	132%
C-2 英語	各学科の英語A、ドイツ語の最上級学年のクラス平均の平均、および第三学年T O E I Cの各学科の平均スコア（基準は350とする）との平均	113%
D-1 理学	第二学年の物理BI、BIIと第四学年の応数数学B、C、Dのクラス平均の平均	117%
D-2 基礎工学	第二学年のデジタル回路Iと第四学年の応用物理Iと計算機アーキテクチャのクラス平均の平均	135%
D-3 工学共通	第三学年電気情報工学実験と第四学年電気情報工学実験のクラス平均の平均	120%
D-4 専門(1)主要	第三学年の電気回路Iと第四学年の電気磁気学Iのクラス平均の平均	116%
D-4 専門(2)電気電子	第四学年のデジタル回路IIと電気回路IIのクラス平均の平均	124%
D-4 専門(3)情報	第四学年の情報理論と言語理論のクラス平均の平均	113%
E 情報技術	第二学年のプログラミングと第三学年のプログラミングのクラス平均の平均	121%

(出典 教務揭示板)

資料6-1-①-3

電子制御工学科

分類	評価方法	評価
A-1 社会倫理	各学科の総合国語、地理、歴史、倫理、政治経済、法学、英語A、ドイツ語の最上級学年のクラス平均の平均	134%
A-2 技術者倫理	4年工学基礎研究の評価のクラス平均	131%
A-3 芸術・保健体育	各学科の保健・体育・美術・音楽の最上級学年のクラス平均の平均	134%
B-1 計画	5年電子制御工学実験IIIの評価のクラス平均	133%
B-2 実践	5年卒業研究の各指導教員による評価表から算出した学生別評価（論文、発表会、研究内容の各総合評価の平均）のクラス平均	135%
C-1 日本語	各学科の総合国語の最上級学年のクラス平均	140%
C-2 英語	各学科の英語A、ドイツ語の最上級学年のクラス平均の平均、および第三学年T O E I Cの各学科の平均スコア（基準は350とする）との平均。	114%
D-1 理学	4年応用物理I、応用数学B、応用数学Cの各評価のクラス平均の平均	125%
D-2 基礎工学	4年機械運動学II、材料の力学IIの各評価のクラス平均の平均	119%
D-3 工学共通	4年計測工学、制御工学、工学基礎研究の各評価のクラス平均の平均	131%
D-4 専門	3年電気磁気学I、電気回路I、電子回路、4年電気磁気学II、電気回路II、電気回路III、電子制御回路の各評価のクラス平均の平均	120%
E 情報技術	3年情報処理II、4年情報処理IIIの各評価のクラス平均の平均	127%

(出典 教務揭示板)

資料6-1-①-4

環境都市工学科

分類	評価方法	評価
A-1 社会倫理	各学科の総合国語、地理、歴史、倫理、政治経済、法学、英語A、ドイツ語の最上級学年のクラス平均の平均	124%
A-2 技術者倫理	技術者倫理の評価のクラス平均	125%
A-3 芸術・保健体育	各学科の保健・体育・美術・音楽の最上級学年のクラス平均の平均	131%
B-1 計画	卒業研究の「問題点と課題を理解する能力がある」についての評価のクラス平均	127%
B-2 実践	卒業研究の「総合的な論文作成能力がある」についての評価のクラス平均	123%
C-1 日本語	各学科の総合国語の最上級学年のクラス平均	130%
C-2 英語	各学科の英語A、ドイツ語の最上級学年のクラス平均の平均、および第三学年T O E I Cの各学科の平均スコア（基準は350とする）との平均	108%
D-1 理学	数値計算法、応用数学、数理計画学IIのクラス平均の平均	112%
D-2 基礎工学	設計製図、基礎実験II、都市工学、コンクリート工学II、空間情報工学、建設マネジメントのクラス平均の平均	121%
D-3 工学共通	循環型社会形成論、総合実験、エネルギー工学、測量学III、防災工学のクラス平均の平均	130%
D-4(1) 専門	構造力学II、水理学II、土質力学IIのクラス平均の平均	110%

D-4(2) 専門	環境工学Ⅱのクラス平均	113%
D-5 異分野	卒業研究の「異なった研究領域、分野を理解する能力がある」についての評価のクラス平均	100%
E 情報技術	数値計算法、設計製図、総合演習Ⅰ、総合演習Ⅱのクラス平均の平均	127%

(出典 教務揭示板)

資料 6-1-①-5

建築学科

分類	評価方法	評価
A-1 社会倫理	各学科の総合国語、地理、歴史、倫理、政治経済、法学、英語A、ドイツ語の最上級学年のクラス平均の平均	123%
A-2 技術者倫理	建築技術者倫理（4年）クラス平均	115%
A-3 芸術・保健体育	各学科の保健・体育・美術・音楽の最上級学年のクラス平均の平均	133%
B-1 計画	卒業研究の「計画性と計画遂行能力」についての評価（5段階）のクラス平均	137%
B-2 実践	卒業研究の「解析能力と論文作成能力」についての評価（5段階）のクラス平均	133%
C-1 日本語	総合国語の最上級学年（4年）のクラス平均	134%
C-2 英語	英語A、ドイツ語の最上級学年（5年）の平均成績、および第三学年TOEICのスコア（基準は350とする）との平均。	109%
D-1 理学	応用数学Ⅱ、応用物理Ⅱ、情報処理Ⅱ（4年）、応用数学Ⅲ（5年）の平均成績の平均	127%
D-2 基礎工学	建築材料、地域都市計画（4年）、建築生産、環境特論Ⅰ、防災工学Ⅱ、構造特論、建築法規（5年）のクラス平均の平均	124%
D-3 工学共通	環境工学Ⅱ、建築計画Ⅱ、建築工学実験Ⅱ、建築設備Ⅰ（4年）、環境社会学、建築設計製図Ⅲ、測量学、防災工学Ⅰ（5年）のクラス平均の平均	125%
D-4 専門	建築計画Ⅱ、建築設計製図Ⅱ、環境工学Ⅱ、建築設備Ⅰ、構造力学Ⅱのクラス平均の平均	115%
E 情報技術	建築設計製図Ⅱ、情報処理Ⅱ（4年）のクラス平均	122%

(出典 教務揭示板)

専攻科課程

専攻科課程における教育目標（１）～（５）と養成すべき学力や資質・能力等の学習・教育目標（Ａ）～（Ｅ）との対応を資料 6-1-①-6 に示す。（Ａ）～（Ｅ）の分類は準学士課程と同様である。また、学習・教育目標の評価方法・評価基準を定め、達成度を評価している。達成度の判定方法を資料 6-1-①-7 に示す。

資料 6－1－①－6

「学校の教育目標，専攻科で養成する学力や資質・能力等の具体的な教育目標の分類及び標語との対応」

◎は特に関与，○は関与

養成する学力や資質・能力等の学習・教育目標の分類 学校の教育目標 (専攻科課程)	(A) 倫理	(B) デザイン 能力	(C) コミュニ ケーション 能力	(D) 専門知識 ・能力	(E) 情報技術
(1) 得意とする専門分野をさらに深めるとともに，異分野を理解し複数の分野にまたがった思考力を備えた技術者の育成				◎	
(2) 社会の要求するテーマを創造的に調査・企画・設計・計画し，継続的に解析・実行・改善できる問題解決能力を備えた技術者の育成		◎			
(3) 的確な日本語と国際的に通用するコミュニケーション能力を備えた技術者の育成			◎		
(4) 先端情報技術を駆使して専門分野のプログラムを構築する能力を備えた技術者の育成					◎
(5) 多様でグローバルな視点の倫理的判断ができ，技術者の社会的責任を理解して地域貢献できる技術者の育成	◎				
標語（校長，教務）	広い教養	ものづくり	英語	深い専門	IT

(出典 学生便覧)

資料 6 - 1 - ① - 7

「環境システムデザイン工学」教育プログラムの達成度判定方法（2007 専攻科入学）

達成度判定項目		達成度の評価方法			
		単位取得を要する科目あるいは時間数		その他の条件	
		科目名(注 1)	科目等選択条件		
学士学位取得				学位授与機構により学士の認定を受けること	
取得単位数		124 単位以上		—	
コース修了				コースの教育課程を修了すること	
学習保証時間	人文、社会科学	参考付表参照	250 時間以上	—	
	数学、自然科学、情報技術等	参考付表参照	250 時間以上	—	
	専門分野	参考付表参照	900 時間以上	—	
	合計	1800 時間以上		—	
学習・教育目標	(A) 倫理	(A-1)社会倫理 ①多様性の理解 ②グローバルな視点	①英語A、ドイツ語、法学 ②社会倫理学特論	別表1参照	—
		(A-2)技術者倫理 ①社会問題の科学的理解 ②技術者の社会的責任	①特別研究(専攻科1年前期) ②社会倫理学特論、特別実習	別表1参照	—
	(B) デザイン能力	(B-1)計画 ①調査・検索能力 ②企画・立案能力 ③問題抽出・検討能力 ④設計・計画能力	別表1参照 ①特別研究、創造工学実習 ②創造工学実習、特別研究 ③電子システム工学実験(専攻科1年前期)、建設工学実験(専攻科1年)、特別実習、創造工学実習、特別研究 ④電子システム工学実験(専攻科1年前期)、建設工学実験(専攻科1年)、創造工学実習、特別研究		学協会等で口頭発表できる能力を有すること
		(B-2)実行 ①知識・技術取得能力 ②協調・管理統率能力 ③実践能力 ④継続的改善能力 ⑤報告書作成・プレゼンテーション能力 ⑥評価能力	別表1参照 ①電子システム工学実験(専攻科1年前期)、建設工学実験(専攻科1年)、創造工学実習、特別研究 ②電子システム工学実験(専攻科1年前期)、建設工学実験(専攻科1年)、創造工学実習、特別実習 ③電子システム工学実験(専攻科1年前期)、建設工学実験(専攻科1年)、特別実習、創造工学実習、特別研究 ④電子システム工学実験(専攻科1年前期)、建設工学実験(専攻科1年)、創造工学実習、特別研究 ⑤電子システム工学実験(専攻科1年前期)、建設工学実験(専攻科1年)、特別実習、創造工学実習、特別研究 ⑥電子システム工学実験(専攻科1年前期)、建設工学実験(専攻科1年)、特別実習、創造工学実習、特別研究		
	(C) コミュニケーション能力	(C-1)日本語 ①的確な日本語で表現できる ②日本語で検討・議論ができる	別表1参照 ①総合国語、特別研究 ②総合国語、特別研究	別表1参照	
		(C-2)外国語 ①英語・ドイツ語による基礎的な表現ができる ②英語で基礎的な検討・議論ができる ③英語の基礎的な聴き取り、読解ができる	別表1参照 ①英語総合A、ドイツ語、英語総合B、特別研究 ②英語総合B ③英語総合A、英語総合B	別表1参照	TOEIC425 点以上の能力を有することを英語総合Bの単位認定の条件とする

(D) 専門知識・能力	(D-1)理学 ①数学 ②自然科学	別表1、参考付表(D-1)① 数学科目群参照	(D-1)①科目群において、 別々の系において合計4科 目以上の単位取得	
		別表1、参考付表(D-1)② 自然科学科目群参照	(D-1)②科目のうち3科目以 上の単位取得	
	(D-2)基礎工学	別表1、参考付表(D-2)科 目群参照	(D-2)科目各系1科目以上、 合計6科目以上の単位取得	
	(D-3)専門共通分野	別表1、参考付表(D-3)科 目群参照	(D-3)科目群の別々の系か ら、合計4科目以上の単位 取得	複数の系に同じ科目 を重複計上できない
	(D-4)専門分野	別表1、参考付表(D-4)科 目群参照	(D-4)科目群において4科 目以上の単位取得	
	(D-5)異分野 ①異なった技術分野を理 解できる ②複数の分野にまたがっ た計画を立案しこれを遂 行できる ③人間と環境を意識した 技術的なアイデアを提 案できる	別表1参照 ①電子システム工学実験 (専攻科1年前期)、建設 工学実験(専攻科1年)、 ②電子システム工学実験 (専攻科1年前期)、建設 工学実験(専攻科1年)、 創造工学実習 ③創造工学実習	①左記の指定された科目の 単位取得 ②別表1参照 ③別表1参照	
	(E) 情報技術 ①情報機器を使いこな すことができる ②情報機器で企画・構 築ができる ③専門分野で必要とさ れるプログラミングがで きる ④表現化して説明でき る	別表1、参考付表(E)参照	各系1科目合計4科目以上 の単位取得	複数の系に同じ科目 が重複してもかまわな いが、合計科目は 別々であること

注1)「本教育プログラム達成度水準」に達していない科目については、その科目に関する能力が「本教育プログラム達成度水準」以上に達したことを証明する必要がある。その手続きは別に定める。

(出典 学生便覧)

専攻科課程修了時に学生が身につけるべき学力等や養成する人材像は、専攻課程ごとに記述されている。教育目標の達成に向けて各年次に配置された教科目の達成状況を把握・評価するために、以下のような取り組みを行っている。

1 各教科目における定期試験等の学力試験あるいはレポート課題提出の実施とその評価

教科担当教員は随時、試験を実施する、また、課題レポートの提出を課すことにより、達成度を把握・評価している。その評価方法はシラバスに明記されている。さらに、この評価内容を点検評価・フォローアップ委員会で点検している。一方、専攻科委員は出身学生の教科目の達成状況を総合的に確認し、単位修得に向けての助言、指導を行うなど、担任に相当する役割を果たしている。

2 特別研究における論文の提出、発表会の実施

特別研究の論文および発表について、主査・副査を中心とした複数の教員で評価を実施している。特別研究の評価表の一例を資料6-1-①-8に示す。研究をまとめた学修成果レポートや取得単位数一覧等を学位授与機構に提出し、小論文試験の受験を経て学位を認定される。

資料 6－1－①－8

「特別研究の評価表（平成23年度専攻科修了生（2K）の実績）」

不開示情報

（出展 専攻科会議資料）

成績評価結果は、担当教員が学内LANにより評価集計システムへ送信し、データベース化している。専攻科課程は学期ごとの単位制であり、修了判定会議で修了の検証を実施している。成績評価結果は専攻科会議委員を通じて学生へ配布し、自己の評価を把握し達成度を定期的に確認することができる。

（分析結果とその根拠理由）

準学士課程

資料 6－1－①－1～5 に示したように、達成度の評価が実施されている。

専攻科課程

専攻科課程修了時に身に付ける学力や資質・能力、養成しようとする人材像等について、その達成状況を把握・評価するための取り組みは適切に行われている。学習・教育目標とそれらの達成度の評価方法が明確となっていることが、その理由である。また、学力以外の総合的資質についても、特別実習（実習先責任者を含む）や特別研究の報告内容や取り組む姿勢等で評価しており、評価体制に問題はないと考えられる。

観点 6－1－②： 各学年や卒業（修了）時等において学生が身に付ける学力や資質・能力について、学校としてその達成状況を評価した結果から判断して、教育の成果や効果が上がっているか。

（観点に係る状況）

準学士課程

観点 6－1－① に示した資料 6－1－①－1～5 のように、達成度の評価はいずれも100%を超えている。従って、教育の成果や効果は上がっている。

専攻科課程

専攻科課程の学習・教育目標の達成状況を資料 6－1－②－1 に示す。評価は対応する分類の取得科目数（評価 6 以上）で算定している。達成度評価は、専攻科入学時（4～5 月）、専攻科 2 年次（4～5 月）、専攻科修了前（2 月）の合計 3 回実施し、学生と専攻科会議委員でチェックのうえ履修申請等に反映させる。一覧は専攻科会議で報告、確認される。単位取得において基準となるポイント（基準ポイント：評価 6 に相当）を獲得した場合の達成度を100%として、達成ポイント（合格科目の評価および単位数に依存）を計算し、各学習・教育目標に対する総合的達成度を求める。つまり、基準ポイント＝各学習・教育目標達成に必要な単位数×評価6、達成ポイント＝合格した科目の10段階評価の合計値（単位数による重み付け）、総合的達成度＝（達成ポイント）／（基準ポイント）×100%、である。可否のみの科目（特別研究等）は、資料 6－1－②－2 の評価シートにおける論文審査および発表審査の平均値を10段階評価に換算し評価する。また、専攻課程の単位取得および学習保証時間に関する達成

度状況を資料 6-1-②-3 に示す。以上の資料により専攻科修了時点で学習・教育目標、単位取得状況の達成度が全員100%以上であることが確認できる。特別研究論文題目一覧を資料 6-1-②-4 に示す。学術研究から教育研究まで幅広く、環境やエネルギー、福祉など社会貢献に密接したテーマも設定されている。6-1-②-5 に学会活動の実績を示す。これらのなかには所属学会の支部レベルで優秀研究発表者賞、優秀ポスター賞等、優秀な成績を収めている学生もいる。

資料 6-1-②-1

学習目標の達成度状況（平成23年度専攻科修了生（2S）の実績）

不開示情報

（出典 専攻科会議資料）

資料 6-1-②-2

「平成23年度 建設工学専攻 特別研究 審査発表会 評価表」

不開示情報

（出典 専攻科会議資料）

資料 6-1-②-3

「単位取得および学習保証時間に関する達成度状況（平成23年度専攻科修了生（2S）の実績）」

不開示情報

（出典 専攻科会議資料）

資料 6-1-②-4

「平成23年度 専攻科 電子システム工学専攻 特別研究審査会プログラム」

不開示情報

（出典 特別研究審査会予稿集）

資料 6-1-②-5

「平成23年度専攻科修了生の学会活動」

不開示情報

（出典 専攻科会議資料）

(分析結果とその根拠理由)

準学士課程

観点 6-1-①に示した資料 6-1-①-1～5 のように、達成度の評価はいずれも100%を超えている。従って、学生が身に付ける学力や資質・能力について、教育の成果や効果が上がっているものと判断する。

専攻科課程

専攻科課程の修了率はほぼ100%であり教育の成果が十分あがっている。TOEICも専攻科課程のほぼ全員がスコア425をクリアしており、英語能力の向上に対する教育効果が現れていると判断できる。特別研究についても各種の学協会等でその研究内容は評価されており、密接で丁寧な研究指導体制が寄与していると考えられる。

観点 6-1-③： 教育の目的において意図している養成しようとする人材像等について、就職や進学といった卒業（修了）後の進路の状況等の実績や成果から判断して、教育の成果や効果が上がっているか。

(観点に係る状況)

準学士課程

準学士課程の就職は、本校教員が企業からの要請により学生を推薦する、いわゆる推薦方式の就職斡旋を実施している。資料 6-1-③-1 は平成23年度卒業生についての求人状況を示したものであり、求人件数は推薦方式の就職斡旋を前提とした値である。5 学科間ではばらつきはあるものの、平均すると求人倍率は、17倍であり、昨今の大学生の求人倍率が1 倍もない状況を鑑みると、本校準学士課程の卒業生については、企業から非常に高い評価を得ていることがわかる。

資料 6-1-③-1

平成 23 年度卒業者の就職状況

学 科	求人件数	求人倍率 対 就職学生数
機械工学科	401	29 倍
電気情報工学科	431	17 倍
電子制御工学科	444	19 倍
環境都市工学科	144	9 倍
建築学科	136	11 倍
合 計	1556	17 倍

(出典 平成 24 年度学校説明会資料)

準学士課程のうちの約半数は、国立大学の工学部の3 年次編入、あるいは本校の専攻科に進学する。資料 6-1-③-2 は平成23年度卒業生についての進学状況を示したものである。多くの志望大学で、合格者数が入学者数を上回っており、各学生は複数の進学先に合格し、第一志望の大学等に進学している状況を示している。

資料 6－1－③－2

平成 23 年度卒業生進学状況抜粋

志望大学等名	受験者数	合格者数	入学者数
北海道大学	6	2	2
東北大学	4	1	1
千葉大学	7	5	2
東京大学	5	1	1
筑波大学	13	5	3
長岡技術科学大学	7	7	4
金沢大学	3	2	2
福井大学	3	1	1
信州大学	2	1	1
岐阜大学	17	10	6
名古屋大学	17	5	4
名古屋工業大学	27	12	5
豊橋技術科学大学	20	16	13
三重大学	3	2	2
京都工芸繊維大学	6	2	1
大阪大学	7	3	1
東京工業大学	4	2	1
岐阜工業高等専門学校専攻科	71	55	38
合計	222	132	88

(出典 平成 24 年度学校説明会資料)

専攻科課程

最近の本科卒業生・専攻科修了生の就職先および本科卒業生の進学先を資料 6－1－③－3 に示す。また、最近の専攻科修了生の進学先を 6－1－③－4 に示す。

資料 6－1－③－3

卒業生・修了者の就職状況（過去3年間）
大学編入学等合格者数（過去5年間）

就職年度					就職年度					就職年度					入学年度				
会社名等					会社名等					会社名等					合格大学等				
【建設業】					【汎用・生産用・業務用機械器具製造業】					【電気・ガス・熱供給・水道業】									
㈱アイジーコンサルティング	1				オークマ㈱	2				大阪ガス㈱	1	1			北海道大学	1	3	2	2
㈱瀧沼組	2				KYB㈱	1				関西電力㈱	3	3	3		室蘭工業大学	1	1	1	2
旭化成住宅建設㈱	1	1			㈱小谷製作所	1				中部電力㈱	8	10	6		東北大学	2	2	2	1
厚見建設工業㈱	1				タイキン工業㈱	3				東京電力㈱	3	1			秋田大学	1			
㈱安部日鋼工業	1				竹田設計工業㈱	1				東邦ガス㈱	1	2	1		茨城大学			1	
㈱市川工務店	2	1			東芝メカニカルシステムズ㈱	1				㈱トーエネック			1		筑波大学	6	2	8	5
井坪工務店	1				東芝エレベータ㈱	1				メタウォーター㈱	1				宇都宮大学	1	1	1	1
㈱上板設計	1				㈱トウメイエンジニアリング	1				小計	17	17	11		群馬大学	1	1		
エステック	1				トキヰ精機㈱	1				【情報通信業】					千葉大学	4	1	4	7
㈱NTTファシリティーズ	2	2	4		㈱名古屋刃型	1				㈱アブリコア	1				東京大学	2			1
㈱大林組	1	1			ハセック㈱	1				㈱アルファシステムズ	1				東京工業大学	1	1	1	2
㈱カジタ鉄工	1				パナソニック㈱ホームアプライアンス社	1				㈱アルメックス			1		東京農工大学	1			1
㈱山建設計	1				日立アイーシステム㈱	1				アンドール㈱	1				電気通信大学		2	3	
川崎設備工業㈱	1				富士電機システムズ㈱	2				日本システム通信㈱	1				横浜国立大学				1
経建㈱	1	3			三浦工業㈱	1				キャデム㈱			1		新潟大学			2	
KRH㈱	1				三菱重工プラステックテクノロジ㈱	1				㈱NHKアイテック	1				長岡技術科学大学	2	2	1	7
㈱森原組	1				三菱電機メカトロニクスソフトウェア㈱	1	1			NTTコムウェア東海㈱	1	1			富山大学				1
建設工業㈱	1				㈱森精機製作所	1				エヌ・ティ・ティ・インフラネット㈱	1	1			金沢大学	6	4	3	4
㈱工設計	1				ヤマザキマザック㈱	2				㈱エヌ・ティ・ティ・ネオメイト	3	1	2		福井大学	4	2	4	1
コクエンエンジニアリング&テクノロジー㈱	1				小計	11	6	8		㈱KDDIデータエンジニアリングサービス	1	1			山梨大学				1
五洋建設㈱	1				【電子部品・デバイス・電子回路製造業】					㈱シャープビジネスコンピュータソフトウェア㈱	1				信州大学	4	2	1	1
三機工業㈱	1				イビデン㈱	1	2			㈱電算システム	1				岐阜大学	13	20	17	15
㈱センチュリー 21	2	1			イビデンエンジニアリング㈱	1	1			㈱ヨコタコミュニケーションシステム	1				静岡大学	1	2	1	3
ジェイアール東海建設㈱	2	1			オリパス㈱	1				豊田ハイシステム㈱			1		名古屋大学	5	2	7	5
ジェイアール東海コンサルタンツ㈱	1				サンテクノ㈱	1				㈱日本ソフトウェア			1		名古屋工業大学	8	9	12	12
㈱永製作所	1				ソニーモバイルディスプレイ㈱	1				日本システム開発㈱	1				豊橋技術科学大学	27	21	18	10
盛本構造設計事務所	1				パナソニックエレクトロニクスデバイス㈱	1	1			日本システム通信㈱	1				三重大学	3	1	3	4
三浦建築	1				㈱日立アイーシステム	1				日本電話施設㈱	1				京都大学	3			
㈱副産	1				㈱ユニテック	1				㈱富士通					京都工芸繊維大学	1	3	4	1
大成建設㈱	1				小計	2	4	6		㈱ラボテック	2	1	1		大阪大学	3	1	4	5
大成ロッキ㈱	1				【電気・情報通信機械器具製造業】					小計	12	6	12		神戸大学	2	3	2	1
大東建設㈱	1				愛知電機㈱	1	1			【運輸業・郵便業】					和歌山大学			1	
ダイダ㈱	1	2			京セラコミュニケーションシステム㈱	1				中部国際空港施設サービス㈱	1				奈良女子大学			2	1
大鉄工業㈱	1				サン電子㈱	1				東海交通機㈱	1				岡山大学		3		
大日本土木㈱	1				セイコーエプソン㈱	1				東海旅客鉄道㈱	7	8	3		鳥取大学	2			
大和ハウスメーカー㈱	2				ソニーエームシーエス㈱	2				西日本旅客鉄道㈱	1	1	2		広島大学			1	
高砂熱学工業㈱	1				パナソニックエレクトロニクスシステムズ㈱	1				日本貨物鉄道㈱	2	2			高知大学	1	1		
堀上工業㈱	1				㈱ビッパ	1				小計	12	11	5		九州大学	1	1	1	1
㈱豊林	1				㈱日立アイーシステム	2				【金融業】					首都大学東京			1	1
田中社寺㈱	1				㈱日立製作所	1				㈱大塚共立銀行	1				大阪府立大学				1
㈱塚原建設研究所	1				㈱日立製作所	1				小計	1				大阪市立大学		1		
㈱国建設コンサルタンツ㈱	1				富士通㈱	1	1			【不動産取引・賃貸・管理業】					愛知県立大学	1			
中日本建設コンサルタンツ㈱	1				㈱明電舎	1				㈱ザイマックス	1				滋賀県立大学			1	
㈱NIPPO	1				レシップ㈱	1				㈱ザイマックスビルマネジメント	1	1			東京理科大学			1	
㈱日立プラントテクノロジー	1				小計	6	4	7		三栄地所協和コミュニティ㈱	1				玉川大学				1
㈱日立ホーム映像見製材	1				【輸送用機械器具製造業】					小計	2	1	1		神奈川大学			1	1
㈱永建設事務所	1				アイシン精機㈱	1	2	2		【その他の専門・技術サービス業】					神奈川工科大学				1
㈱フジタ	1				アイシンエンジニアリング㈱	1				㈱岐阜県市町村行政情報センター	1				金沢工業大学				1
フジ大建石㈱	1	1	1		MHIエアロエンジニアサービス㈱	1				日立アプライアンス㈱	1				中部大学			1	
丸栄コンクリート工業㈱	1				大岡技研㈱	1				㈱フォーラムエンジニアリング	1	1			立命館大学	1	1	1	1
丸平建設㈱	1				各務原航空機器㈱	1				三菱電機ビルテクノサービス㈱	1				同志社大学		1	1	
矢作建設工業㈱	1				川崎重工業㈱	2	2			電工機エンジニアリング㈱	1				大阪電気通信大学				1
矢建建設㈱	1				川崎重工業エンジニアリング㈱	2	3			小計	2	3	1		名城大学				1
和田建築設計	1				KYB㈱	1				【生活関連サービス業・娯楽業】					関西大学	1	1	1	
小計	28	30	21		竹田設計工業㈱	1				㈱下徳	1				京都府立大学				1
【食料品・飲料・たばこ・飼料製造業】					デンソーテクノ㈱	2				小計	1				神戸芸術工科大学				1
アビコ	1	2			豊田合成㈱	1				【その他の教育・学習支援業】					東海大学	1			
カゴメ㈱	1	1	2		トヨタテクニカルペロップメント㈱	2	1	1		ホームズ個別指導学院	1	1			福岡工業大学				1
キリンビール㈱	1				㈱ナスカ	1				小計	1	1							
サントリープロダクツ㈱	1	1	1		ナブテスコ㈱	1	1	1		【国家公務】					岐阜高専（専攻科）	50	32	44	50
サントリーホールディングス㈱	1				日清紡プレーキ㈱	1				警察庁				1					
日本たばこ産業㈱	1				本田技研工業㈱	2	1			国土交通省	2	3							
㈱明治	1				三菱重工業㈱	2	1			水資源機構	1								
森永乳業㈱	1				小計	11	11	14		防衛省2種（土木）	1								
雪印メグミルク㈱	1				【その他の製造業】					国立印刷局	1								
㈱ユーハイム	1				愛知㈱				1	林野庁	1								
小計	2	6	9		ダイキン工業㈱	1				小計	3	2	5						
【化学工業・石油・石炭製品製造業】					㈱ニッパ	1				【地方公務】									
出光興産㈱	1				日本電気鉛字㈱	1	1			安八町	1								
㈱ツムラ	3				パナソニックエレクトロニクスシステムズ㈱	2				一宮市	2	1							
東亜ゼネラル石油㈱	1				ミズノテクノニクス㈱	1				海津市	1								
日本合成化学工業㈱	1				㈱LIXIL	1				春日井市	1	1							
ユニチカ㈱	1				レノゴ㈱	1				北方町	1								
㈱吉野工業所	1				小計	4	4	2		岐阜市	1								
小計	1	3	4							京都市	1	1							
【鉄鋼業・非鉄金属・金属製品】										名古屋市	3	2	2						
スターインフォテック㈱	1									名古屋港管理組合	1	1							
立松モールド工業㈱	1									岐阜県岐阜市整備協会	1	1							
豊田製作所㈱	1									小計	10	8	4						
小計	1	2								合計	126	117	113						

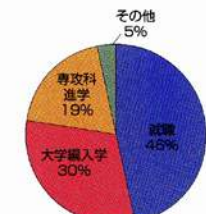
平成24年3月卒業生進路内訳

就職 45.5%

専攻科進学 19%

大学編入学 30%

その他 5%



平成 24 年 3 月卒業生進路内訳

(出典 学校案内)

資料 6－1－③－4

専攻科修了生の大学院進学者数(過去5年間)

大学院名	電子システム工学専攻	建設工学専攻	計
京都大学大学院	2		2
大阪大学大学院	1	1	2
東京工業大学大学院	1		1
筑波大学大学院	1		1
岐阜大学大学院	2	2	4
神戸大学大学院	1		1
豊橋技術科学大学大学院		2	2
名古屋大学大学院	6	4	10
名古屋工業大学大学院	5	8	13
名古屋市立大学大学院		2	2
三重大学大学院	1	1	2
奈良先端科学技術大学院	4		4
北陸先端科学技術大学院	1		1
合 計	25	20	45

(分析結果とその根拠理由)

準学士課程

準学士課程の就職については、企業から求人があると、各専門学科で審議し学生を企業に推薦するタイプの就職指導を行っている。また、企業からの求人は、ほとんどが、技術系総合職としての採用である。学科にばらつきはあるものの、クラス40名の半数前後が就職志望者であり、5学科平均で17倍(推薦タイプの就職)の高い求人倍率である。昨今の一般の大学新卒について、求人倍率が1倍もない状況と比較すると、非常に堅調である。

大学3年次への編入学と専攻科への進学を、併せて進学と称している。1学年200名のうち、約半数が進学であり、このうちの30名強が専攻科に進学し、70名程度が大学3年次に編入学している。

以上のように、就職や進学といった卒業後の進路の状況等の実績や成果から判断して、教育の成果や効果が上がっているといえる。

専攻科課程

専攻科修了生の就職先は各分野の中核企業、進学先も実績のある大学院である。また、本校の修了生に対して就職先の企業、進学先の大学院からも高い評価が得られており、専攻科課程修了時に身に付ける学力や資質・能力、養成しようとする人材像が達成できていると判断できる。

観点 6－1－④： 学生が行う学習達成度評価等、学生からの意見聴取の結果から判断して、教育の成果や効果が上がっているか。

(観点に係る状況)

準学士課程

卒業式に卒業生に対して行う、教育目標についての達成度・満足度を問うアンケート結果を資料6-1-④-1に示した。学科によるばらつきはあるが、達成度については平均2.8～3.3の範囲にある。

資料6-1-④-1

平成24年度 教育目標(準学士課程)に関するアンケート

点検評価・フォローアップ委員会

本校の教育の改善等のために、卒業時に教育目標(準学士課程)に関するアンケートを実施した。その結果を下記に示す。
5段階評価で5が最上である。

準学士課程の教育目標

- (1) 広い視野を持ち、自立心と向上心に富み、教養豊かで心身ともに健康な技術者の育成
- (2) 基礎学力を身に付け、創造力、応用力、実践力を備えた技術者の育成
- (3) 国際コミュニケーション能力と先端情報技術を駆使する能力を備えた技術者の育成
- (4) 工学技術についての倫理観を有した技術者の育成
- (5) 教育研究活動を通じて社会へ貢献できる技術者の育成

		5M	5E	5D	5C	5A	平均	平均(H23)
1	この教育目標を知っていますか?	3.0	2.4	2.1	3.0	2.9	2.6	3.0
2	(1)の目標はこれでよいと思いますか?	3.8	4.3	3.5	4.1	3.6	3.8	3.8
3	(2)の目標はこれでよいと思いますか?	3.8	4.2	3.6	4.1	3.7	3.9	3.8
4	(3)の目標はこれでよいと思いますか?	3.8	4.2	3.7	4.1	3.8	3.9	3.8
5	(4)の目標はこれでよいと思いますか?	3.8	4.3	3.6	4.2	3.8	3.9	3.9
6	(5)の目標はこれでよいと思いますか?	3.8	4.4	3.8	4.2	3.7	4.0	3.5
7	(1)の目標に対して、学校の教育に満足していますか?	3.6	3.4	3.4	3.7	3.2	3.5	3.4
8	(2)の目標に対して、学校の教育に満足していますか?	3.8	3.7	3.5	3.7	3.3	3.6	3.2
9	(3)の目標に対して、学校の教育に満足していますか?	3.3	3.3	3.2	3.2	3.4	3.3	3.1
10	(4)の目標に対して、学校の教育に満足していますか?	3.7	3.9	3.4	3.8	3.5	3.7	3.4
11	(5)の目標に対して、学校の教育に満足していますか?	3.7	3.6	3.4	3.8	3.4	3.6	3.3
12	あなたは(1)の目標を達成したと感じていますか?	3.4	3.2	3.2	3.7	3.2	3.4	3.2
13	あなたは(2)の目標を達成したと感じていますか?	3.4	3.1	3.2	3.5	3.2	3.3	3.3
14	あなたは(3)の目標を達成したと感じていますか?	3.1	2.9	2.9	3.2	3.2	3.1	2.8
15	あなたは(4)の目標を達成したと感じていますか?	3.3	3.4	3.0	3.5	3.3	3.3	3.3
16	あなたは(5)の目標を達成したと感じていますか?	3.4	3.4	2.9	3.6	3.4	3.3	3.2

分析

昨年度と同調査よりも概ね平均値は上回っているが、教育目標の周知のみ値が下がった。教育目標に対する周知を重ねて実施する必要がある。
(3)の目標についても、昨年度より、若干、値は上がっているが、依然として学校の教育に対する満足度も達成度もともに低い傾向が続く。次年度の改善等の参考とする。

(出典 点検評価・フォローアップ委員会資料)

専攻科課程

専攻科において学生が行う学習達成度評価の項目には、以下のものがある。(1)授業内容の理解度に関する項目、(2)シラバスに記載された各教科目の目標に関する項目、(3)定期試験返却時の成績評価に関する項目、(4)半期毎に配布される個人成績通知表に関する項目、(5)専攻科修了時の満足度アンケートに関する項目

(1)～(3)は、定期試験終了後の授業アンケートにより達成度自己評価(教科目目標の達成度、総合的な達成度)が定量化される。(4)の個人成績通知表は、出身学科の専攻科会議委員から専攻科学生に渡される。観点6-1-②の専攻科課程でも述べたように、この成績をもとに達成度状況を学生と出身学科の専攻科会議委員がチェックし、次期の履修申請などに反映させている。(5)の専攻科修了時に実施するアンケートの内容を資料6-1-④-2に、平成23年度のアンケート結果を資料6-1-④-3に示す。

平成23年度専攻科修了生35名(S22名、K13名)のうち、35名から回答があり、回収率100%である。評価基準として1を十分に満足、3を普通、5を大いに不満とした。優れていると判断した項目(平均2.5以下)は「エンジニアリング像の必要性」、「口頭発表と社会水準」、「充実した学生生活」である。

資料 6-1-④-2

2012. 2. 24. 岐阜工業高等専門学校専攻科

平成 23 年度専攻科修了生に対する学習・教育目標に関するアンケート項目

本校では、国際的技術者としての素養を身に付けることを目的として、本科（一部 3，） 4， 5 年及び専攻科 1， 2 年の教育課程によって構成される「環境システムデザイン工学」教育プログラムを設定し、「日本技術者教育認定機構（JABEE）」の認定を受けています。

プログラムの学習・教育目標等には、専攻科修了生の皆様の意見を積極的に取り入れ、よりよいプログラムに改善していきたいと思います。

別紙 1 の「環境システムデザイン工学」教育プログラムの概略、および別紙 2 の「環境システムデザイン工学」教育プログラムの学習・教育目標をお読みいただき、以下の事項について当てはまるとお考えの番号に○印をつけてください。

なお、アンケート中の「社会の要請する水準」は、「日本技術者教育認定機構」では、「技術者に期待される学士レベルの基礎教育として適切であり、教育の国際的相互承認等を可能にする程度である必要がある」としていますが、ここでは、高専専攻科生修了生として職場で期待される水準を「社会の要請する水準」と考えていただければ結構です。

※学習・教育目標として追加・修正事項等がありましたら、以下の欄に自由に記入してください。

- ☐ 学習・教育目標（A） 論理
- ☐ 学習・教育目標（B） デザイン能力
- ☐ 学習・教育目標（C） コミュニケーション能力
- ☐ 学習・教育目標（D） 専門知識・能力
- ☐ 学習・教育目標（E） 情報技術
- ☐ その他

- 1) 日本技術者教育認定機構（JABEE）についてどの程度ご存知ですか？
- 2) プログラムの概念は理解できたでしょうか？
- 3) プログラムの目指すエンジニア像は理解できたでしょうか？
- 4) 本プログラムの目指すエンジニアは、今後必要になると思いますか？
- 5) 就職先は、JABEE 修了認定された学生を採用したいと思うところですか？
- 6) 学習・教育目標は理解できたでしょうか？
- 7) 環境システムデザイン工学の学習・教育目標として適切であると思いますか？
- 8) 職場に学士として配属された新入社員が、この学習・教育目標を達成していれば、新入社員としては十分満足であると思いますか？
- 9) 学習・教育目標（A） 倫理を達成していれば、一般的に「社会の要請する水準」以上にあるといえるでしょうか？
- 10) 学習・教育目標（B） デザイン能力を達成していれば、一般的に「社会の要請する水準」以上にあるといえるでしょうか？
- 11) 学習・教育目標（C） コミュニケーション能力を達成していれば、一般的に「社会の要請する水準」以上にあるといえるでしょうか？
- 12) 学習・教育目標（D） 専門知識・能力を達成していれば、一般的に「社会の要請する水準」以上にあるといえるでしょうか？
- 13) 学習・教育目標（E） 情報技術を達成していれば、一般的に「社会の要請する水準」以上にあるといえるでしょうか？
- 14) 学習・教育目標（A） 倫理をどの程度達成しましたか？
- 15) 学習・教育目標（B） デザイン能力をどの程度達成しましたか？
- 16) 学習・教育目標（C） コミュニケーション能力をどの程度達成しましたか？
- 17) 学習・教育目標（D） 専門知識・能力をどの程度達成しましたか？
- 18) 学習・教育目標（E） 情報技術をどの程度達成しましたか？
- 19) 学習・教育目標（D-5） 異分野について、「人にも地球にも優しい環境システム」を「環境問題に配慮したシステム」に修正しました。適切な修正でしょうか？
- 20) 学習・教育目標（E） 情報技術について、「情報処理システムのプラン」を「専門分野のプログラム」に修正しました。適切な修正でしょうか？
- 21) 専攻科修了までに、学会で口頭発表することを修了基準に考えています。この要求は「社会の要請する水準」以上であると思いますか？
- 22) 専攻科修了までに、TOEIC の試験でスコア 425 以上取ることを修了基準に考えています。この要求は「社会の要請する水準」以上であると思いますか？
- 23) 専攻科修了までに、「TOEIC スコア 400 以上」を「TOEIC スコア 425 以上」に修正しました。適切な修正でしょうか？
- 24) 専攻科において養成すべき人材像（専攻ごと）は適切であると思いますか？

25) 充実した学生生活（専攻科）でしたか？ 4. 5 の場合はその内容を学生氏名と共に下記意見に明記。専攻科関係者と面談します。

以上です。ご協力ありがとうございました。

(出典 専攻科会議資料)

資料 6-1-(4)-3

平成 23 年度専攻科修了生を対象としたアンケート結果

実施日：2/24、2012		H23年度専攻科修了生35名（S22名・K13名）のうち、35名からのアンケート回収＝100％（回収率）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											</
---------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

(出典 専攻科会議資料)

(分析結果とその根拠理由)

準学士課程

資料6-1-④-1に示したように、卒業式に卒業生に対して実施するアンケート結果では、5つの教育目標についての達成度は2.8～3.3の範囲にあり、概ね達成しているものとする。

專攻科課程

専攻科修了生はJABEEの意義を理解し、専攻科の教育についても概ね満足していることがわかる。満足度の低い項目として「TOEICと社会水準」、「TOEIC400→425」等、TOEIC 関連項目が挙がっているが、自己記述欄にもあるように合格基準をもっと上げるべき、との前向きな意見と判断される。

観点6-1-⑤： 卒業（修了）生や進路先等の関係者から、卒業（修了）生が在学時に身に付けた学力や資質・能力や、卒業（修了）後の成果等に関する意見を聴取する等の取組を実施しているか。また、その結果から判断して、教育の成果や効果が上がっているか。

(観点に係る状況)

本校では、3年に1回、卒業（修了）生・就職先アンケートを実施している。最近の5年間では、

平成20年度および平成23年度に実施したが、平成20年度実施のアンケートは、本校JABEEプログラムの内容に特化し、またアンケートの対象者も専攻科課程修了者及びその就職先に限定したものであるため、ここでは平成23年度に実施されたアンケート結果について述べる。

卒業生によるアンケート結果（資料6-1-⑤-1）及び修了生によるアンケート結果（資料6-1-⑤-2）からは、共通して約半数が、コミュニケーション能力が不足していると評価している。一方、就職先のアンケート結果（資料6-1-⑤-3）からは、準学士課程及び専攻科課程のどちらにおいてもコミュニケーション能力がおおむね高いと評価されたことから、英語教育等を含む高専のコミュニケーション能力の教育成果が上がってきていることを示している。また、一般教養、デザイン能力及び管理能力に関する評価も低いことから、これらの能力を身に付ける工夫が必要である。

資料6-1-⑤-1

卒業生によるアンケート結果（平成23年度実施）

■岐阜高専本科卒業生の優れている能力等は何ですか。不足する能力等は何ですか。（複数回答可）

7-1 優れている能力

1. 一般教養 2. 倫理観 3. コミュニケーション能力 4. デザイン能力 5. 専門知識
6. 情報技術 7. 管理能力 8. その他（ ）

1	2	3	4	5	6	7	8
8.3%	8.3%	8.3%	8.3%	91.7%	25.0%	8.3%	0%

7-2 不足している能力

1. 一般教養 2. 倫理観 3. コミュニケーション能力 4. デザイン能力 5. 専門知識
6. 情報技術 7. 管理能力 8. その他（ ）

1	2	3	4	5	6	7	8
33.3%	0%	50.0%	25.0%	8.3%	8.3%	41.7%	0%

分析：優れている能力と不足している能力の差が顕著に現れた。専門知識には高い評価を得ており、技術者の基礎となる知識が十分に身に付いていることを示している。一方、半数が、コミュニケーション能力が不足しているとの評価から、前問6-3の評価と関連して、国際コミュニケーション能力が向上するような教育内容に改善していくことを検討したい。

（出典 第3回自己点検・評価実施WG議事録 抜粋）

資料6-1-⑤-2

修了生によるアンケート結果（平成23年度実施）

■岐阜高専専攻科修了生の優れている能力等は何ですか。不足する能力等は何ですか。（複数回答可）

10-1 優れている能力

1. 一般教養 2. 倫理観 3. コミュニケーション能力 4. デザイン能力 5. 専門知識
6. 情報技術 7. 管理能力 8. その他（ ）

1	2	3	4	5	6	7	8
0%	0%	50.0%	0%	50.0%	0%	0%	0%

10-2不足している能力

1. 一般教養 2. 倫理観 3. コミュニケーション能力 4. デザイン能力 5. 専門知識
6. 情報技術 7. 管理能力 8. その他（ ）

1	2	3	4	5	6	7	8
100%	0%	50.0%	0%	0%	0%	0%	0%

分析：回答者が2名と少ないが、どちらも一般教養が不足していると評価していることから、専攻科課程での教養科目の再検討を望みたい。

（出典 平成24年度第3回自己点検・評価実施WG議事録 抜粋）

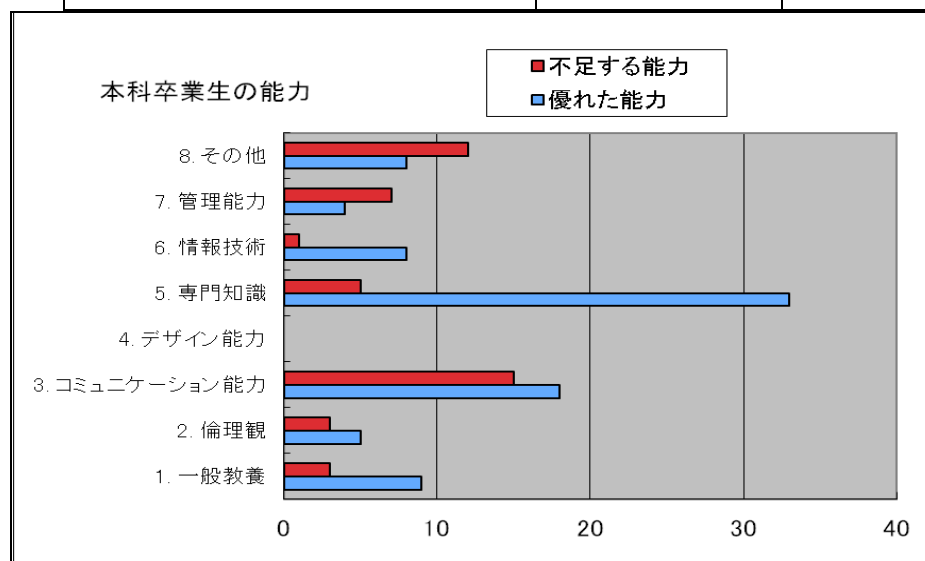
資料6-1-⑤-3

就職先のアンケート結果（平成23年度実施）

L. 岐阜高専本科卒業生の優れている能力等は何ですか。不足する能力等は何ですか。

（複数回答 可）（本科生就職先）

	優秀な能力	不足する能力
1. 一般教養	9	3
2. 倫理観	5	3
3. コミュニケーション能力	18	15
4. デザイン能力	0	0
5. 専門知識	33	5
6. 情報技術	8	1
7. 管理能力	4	7
8. その他	8	12



分析

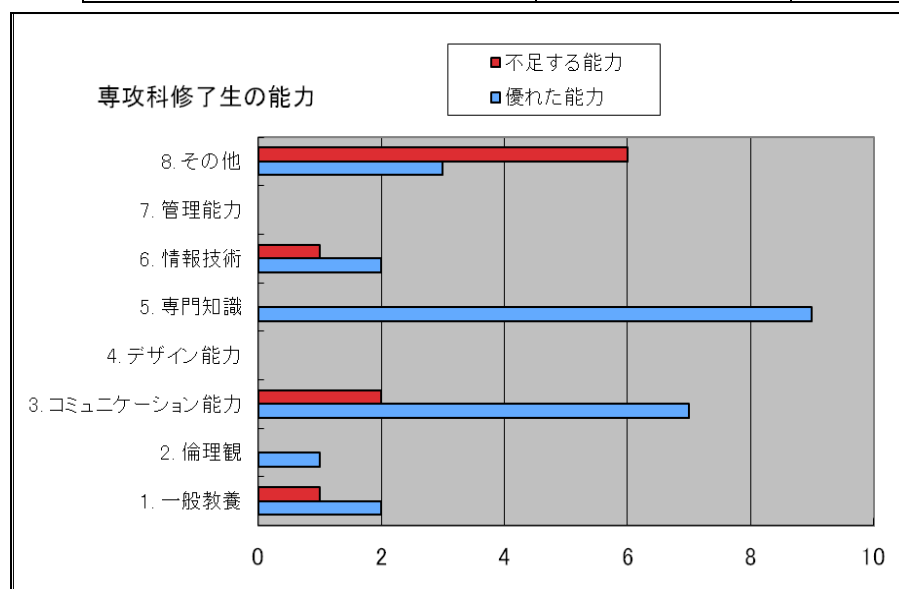
専門知識及びコミュニケーション能力は五年前とほぼ同じ関係にあるが、その他の項目が、優れた能力、不足する能力ともに増えている。今回はその他を具体的に問わなかったので中身がわからない。次回からは記述を願う必

要がある。

岐阜高専専攻科修了生の優れている能力等は何ですか。不足する能力等は何ですか。

(複数回答 可) (専攻科生就職先)

	優秀な能力	不足する能力
1. 一般教養	2	1
2. 倫理観	1	0
3. コミュニケーション能力	7	2
4. デザイン能力	0	0
5. 専門知識	9	0
6. 情報技術	2	1
7. 管理能力	0	0
8. その他	3	6



分析

コミュニケーション能力は五年前とは逆転して、優れた能力にあげられている。英語教育の成果が表れている。

(出典 平成23年度第4回点検評価・フォローアップ委員会議事録 抜粋)

(分析結果とその根拠理由)

卒業(修了)生が在学時に身に付けた能力に関して、卒業(修了)生及び就職先からアンケートにより意見を聴取する取組を3年毎に実施しており、その結果から、教育の成果や効果がおおむね得られていることが分かり、実施の頻度とともに、十分な取組みをしている。

(2) 優れた点及び改善を要する点

(優れた点)

本科から企業への就職は、技術系の総合職としての採用であり、求人状況については、学科間のばらつきはあるものの、定常的に5学科平均で、10倍を超える高い求人倍率を維持している。このことは本校の技術者教育が社会的に認知されているということのみならず、大きな期待を寄せられているものと考えられる。

(改善を要する点)

特になし。

(3) 基準6の自己評価の概要

本校の目的に従って定められた、学生が卒業時に身に付ける学力や資質・能力、養成しようとする人材像等について、その達成状況を把握・評価するための取組が行われており、この結果から、教育の成果や効果が上がっていると言える。また、高い求人倍率に示される就職状況や、大学3年次編入に関わる進学状況等の実績から判断して、教育の成果や効果が上がっている。

また、アンケート結果等による、学生からの意見聴取の結果から判断して、教育の成果・効果は上がっている。さらに、卒業生や進路先企業等の関係者から、卒業生が在学時に身に付けた学力や資質・能力等に関する意見を聴取する取組み結果から判断して、教育の成果や効果が上がっている。

以上のように、本校の教育目的で意図している、学生が身に付ける学力、資質・能力や養成しようとする人材像等について総じて、本校の教育の成果や効果は上がっている。